



町花・桜

古くから人々に愛されている桜の花は、緑あふれる町づくりを目指すシンボルとして、志免町の町花に制定されました。

福祉公園など町内には桜の名所がいくつかあり、春になると私たちの目を楽しませてくれます。

桜が満開の時期（3月下旬～4月始め）には、宇美川沿いの桜並木を夜間ライトアップしており、幻想的な夜桜をお楽しみいただくことができます。



町章

このデザインは、かたかなで町名「シメ」を表現し、平和のシンボル「はと」が胸を膨らませ、青空に向けて大きく羽ばたく姿をかたどっています。



石投げ相撲

志免農区が主催で行う、悪疫退散の万年願をかけた伝統行事です。

江戸時代末期頃に流行った牛馬の悪疫退散のために万念願をかけて祈願し、相撲三十三番を奉納したのが始まりと言われています。明治に入ると相撲好きの若者が広く郡内外から参加するようになり、年ごとに盛大になっていき、勝負に一喜一憂した人々が熱狂のあまり石を投げ合うほどになりました。ここから「石投げ相撲」という異名が生まれ、広がったと云われています。

現在では、健全な青少年育成の一環とし、各地区対抗戦の「こども相撲」や赤ちゃんの健やかな成長を願う「赤ちゃん土俵入り」などが行われています。



国の重要文化財 旧志免鉱業所竪坑櫓

「旧志免鉱業所竪坑櫓」は、かつて志免町に炭鉱があり、志免町が栄えてきた証です。

近代の鉄筋コンクリート建造物の中で、わが国有数の高さを誇り、建設技術史上価値が高いことから国の重要文化財に指定されました。今後は、歴史と文化のシンボルタワーとして、広く親しまれることを願います。